

狛江の教育

発行 狛江市教育委員会事務局

東京都狛江市和泉本町一丁目1番5号
〒201-8585 ☎ 03-3430-1111

ホームページアドレス <http://www.city.komaie.tokyo.jp>

平成23年12月16日発行 第104号

東日本からのメッセージ

現地の小・中学校で活躍されている狛江市の先生方からお便りが届きました。

石巻市立石巻中学校
大谷 正先生（狛江第二中学校）

宮城県石巻市立石巻中学校に赴任して六ヶ月が経ちました。全校生徒数309人で9学級です。昭和22年、戦後間もなく開校した、石巻市内では歴史のある学校です。教室からは、海が見えます。

5月9日より通常の授業が始まりました。石巻中学校は小高い山にあって、津波の被害は免れました。しかし、津波で壊滅した海辺の学校が、校舎の2階に同居して始業しました。また、体育館が避難所となっていたために、体育館は震災からずっと使えず、通常なら体育館で行われる行事や部活動も校庭で行われてきました。10月初旬に体育館で避難生活を送られていた方々が他の場所への移住が完了し、学校の機能は10月中旬には通常に戻りました。

赴任した5月は、まだ見渡す限り瓦礫の山でした。夏休み前の7月には、大きな瓦礫はほとんど除かれて雑草が茂っていました。街は大きく復興したわけではなく瓦礫が除かれただけなのですが、あちこちに緑のある景色に、5月とはちがった変化を感じました。

8月上旬に毎年行われる「川開き」という祭りがあります。盛大に行われる祭りですが、今年は規模を縮小して行われ、石巻中学校では今年も例年通り、3年生が祭りのパレードで「斉太郎節」を披露しました。



私は、赴任当初、中学二年の副担任だったのですが、震災で、ご家族を亡くされ、生家を流された先生が、病氣療養のための休暇に入ったために、現在担任をやっています。正義感のある、タフな大人でさえそうなのですから、心のケアは、まさにこれからが肝心なのだと実感しています。

気仙沼市立気仙沼小学校
竹谷正明先生（狛江第五小学校）

私は今、東日本大震災の支援のために、宮城県気仙沼市立気仙沼小学校に來ています。気仙沼小学校は高台に位置しているのですが津波の被害は免れましたが、隣の南気仙沼小学校は津波による浸水のため校舎が使えなくなり、気仙沼小学校の校舎半分を使って、授業を行っています。南気仙沼小学校は元の場所での再開が非常に困難なため、来年4月に両校が統合されることが検討されています。先日、両校合同の運動会が開催されました。共同開催は誰にとっても初めての経験でしたが、無事成功させることができました。地域の絆も新たに作っていかねばならないところがありますが、子どもたちの笑顔を中心として以前に増して強いものになることと信じています。

小学校には、被災した自宅を離れて生活している子どもたちがたくさんいます。しかし、子どもたちは暗い顔を見せることもなく、元気に学校生活を送っています。気仙沼の子どもたちはたくましいなあと常々感心しています。

10月末、避難所となっていた体育館から避難者の方々が仮設住宅などに移り、ようやく学校で使用できるようになりました。冠水してでこぼこだったところに、かさ上げされた舗装道路が完成し始めました。何か月経っても変わらない荒廃した風景の中にも、よく見るとわずかずつ復興の兆しを感じられるところもあります。とはいえ、まだまだ日本全国からの息の長い支援が必要です。狛江市民の皆さんにも折に触れて被災地の現状を知っていただきたいと思います。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました。



生徒いきいき銀杏募金

狛江第三中学校

10月の中旬に行われた、狛江第三中学校の「銀杏募金」の活動の様子です。メモリーロードのいちょうの木に実った銀杏を、生徒たちが拾い、皮をむき、洗い、干す。そして袋詰めにして、募金をしていただいた方に、銀杏を差し上げるという活動です。

「銀杏募金」は、20年前の雲仙普賢岳の噴火をきっかけに始まりました。生徒会役員が募金活動をしたいと、当時の北崎校長先生に相談したことがきっかけです。校長先生は、生徒が募金活動をするといっても、お金を稼いでいるわけではないので、結局募金するお金は親からもらってくる。そういう活動ではなく自分たちの力でできる活動をしなさいということでした。そこで生徒会役員が考え、狛江第三中学校に実る銀杏を綺麗にし、保護者や地域の方々に募金を呼びかけ、募金していただいた方に銀杏を差し上げるというアイデアが出たそうです。それ以来、20年間にわたり、生徒会が中心となって、活動を行ってきました。



今年度は、東日本大震災で被災された方々のための銀杏募金です。この「銀杏募金」という活動が、今後もよき伝統とし、受け継がれ、三中生が、他の人々に対して感謝と思いやりの心をもつ人に育ってくれたらと願っております。



第二期工事として武道場と多目的室が本年度末までに完成する予定です。

新体育館は、太陽光発電や壁面緑化など環境に配慮するとともに、併設する多目的室と武道場を合わせて、災害時には地域の防災拠点として機動力が発揮できる施設を目指したものです。

狛江第二中学校の体育館の第一期工事が完了し、去る9月10日に市民向け内覧会を実施しました。地域の方々等、約40名の方が参加されました。

狛江第二中学校
新体育館完成